



## 2022 JR 総連春闘勝利！ シリーズ⑫

# リニアは経営破綻まっしぐら！ コロナ罹患なら100%賃金を保証せよ！ 2022春闘 第5回団体交渉

本部は本日、2022年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の申し入れについての第5回団体交渉を開催しました。今回は、リニア建設、年休失効問題、休日予定日発表、更衣時間、規程訂正時間、シーツ交換、コロナ対策などについて議論しました。

本部は、リニア建設費の資金調達や返済についての計画を明らかにするように追及しましたが、会社は「適切に行う」ことしか回答できませんでした。本部は「具体的に回答せよ。経営破綻は確実だ。直ちに建設を中止せよ」と主張しました。

年休失効問題で、本部は「失効する年休は特休として、買い上げよ。年休が失効することは要員不足だ」と主張しました。しかし、会社は「世間を上回る日数を付与している。必要な要員は確保している」として、対立しました。

休日予定日発表について、本部は「制度の運用が難しいということは、要員が足りない証左だ。できない理由はない」と主張しました。しかし、会社は「要員は適正だ。変えるつもりはない」として、対立しました。

更衣時間について、本部は「指揮命令下にないという会社の主張は言いがかりである。厚労省の指導に応じないのはブラック企業だ」と主張しました。しかし、会社は「更衣場所、時間帯は指定してない。自己の時間だ」として、対立しました。

規程訂正時間については、勤務時間内でできるという会社の言い訳は全く変わりません。本部は「勤務時間内でできないから要求を出した。できるという人がいたら、ここに連れて来いと」主張しました。

コロナ対策について、本部は「罹患や濃厚接触者にされた場合、厚労省の指導では賃金は100%が望ましいとしている。ましてや、業務中に感染する割合が非常に高い。賃金は100%保証せよ」と主張しました。しかし、会社は「就業規則等に則り適切に対応する。100%支給する考えはない」として、全ての項目について対立しました。

次回第6回団体交渉（会社回答）は3月18日（金）11:00です。

※詳細は『業務速報』No.1295を参照して下さい。